

2013 冬季研の論点

26日の冬季研修会の論点を整理しました。まとめるのが遅くなってしまって、今日送信することに意味があるのかどうか怪しいところですが、出来ればご一読ください。

なお、正式な当日レジュメは事務局長から送信されることになっています。また、日刊連携会議 109号で実施したアンケートは事務局でプリントしていきます。

<テーマ1> 保護者負担調査の交流と分析について

1. 最近の研究交流の経過

- (1) 7月12日第43回連携会議で、保護者負担調査を提案、その後集計してHPに集計表をアップ。
- (2) 10月11日46回連携会議で、「保護者負担調査の分析について」提案、調査集計。
- (3) 11月15日47回連携会議で調査集計結果について論議
- (4) 12月13日日刊連携会議109号で「保護者負担公費化に向けてアンケート実施」

2. 冬季研修会の論点

- (1) 「保護者負担公費化に向けてアンケート」集計結果の交流
 - ① 保護者負担の公費化のためどのような工夫がされているか。
 - ② 保護者負担の内容や、金額に問題はないか。
 - ③ 今後、どのような場面から公費化を目指していったら良いか。
 - ④ 市内で足並みを揃えて取り組めることはないか。
- (2) 「2013 学校徴収金（学年教材費・各教科実習費・PTA会費等）実態調査」（2013/7/29「実践交流のページNo.38のテーマ3に掲載」を活用しての交流。
 - ① 「徴収金決定の際の事務職員の関わり」について、市経理との調整はどのように行っているか。
 - ② 徴収金の決定に事務職員としてどのように関わっていくべきか。

<テーマ2> 「提言2013」見直しについて

1. 研究交流の経過

- (1) 5月10日の第42回連携会議において、2013年度のとりくみとして「提言」を実施できる体制を整えるために、提言の見直しを行うことが提起される。
- (2) 11月15日の第47回連携会議において、提言2～10を冬季研である程度の方角性を出せるように見直しを行うことを提案し了承される。

2. 作業分担について

- ①研究グループ 提言2～4の見直し
- ②調査研修グループ 提言5～7の見直し
- ③予算要望グループ 提言8～10の見直し

3. これまでの研究交流からの論点

①提言 2：「校舎カーテンクリーニングについて」

提言は行われているが現状改善されていない。提言内容にも謳われている校舎ローテーション方式が良いのか他の観点からクリーニングを実現させるべきなのか？

提言 3：「校舎ワックスがけについて」

体育館のワックスがけについて現状改善されていない。提言にもある「検討・協議」の場をいかに設定させ実現させるためにはどうしたら良いのか？

提言 4：「学校配分予算等の通知方法について」

提言内容1および2とも改善されていない。今後、どのような方向で改善していくのか？

②提言 5：「コンピュータソフト教材購入について」

コンピュータソフトの教材の状況は従前通りで変わっていない状況と思われます。提言としこのままで良いのか？

提言 6：「執行決議書の改善について」

提言内容にある規則改正は行われていません。今後は、どのような方向で市教委に要望していくのか？

提言 7：「市教委発公文書の学校配布方法について」

提言にある検討する場は設置されていません。今後どのように市教委に要望していくのか？説明文のデータが平成22年のままであるがこのままで良いのか？

③提言 8：「図書費の執行について」

次年度から図書費の執行は図書館が主導になりますが、今年度のようなバタバタが無いように図書館と連携を綿密に行わなければなりません。どのような提言内容が良いのか？

提言 9：「児童生徒名前のゴム印の公費化について」

提言内容にある配分外予算としては現状になっていない。今後、どのように市教委に提言していけば良いのか？

提言10：「職業体験学習の生徒旅費の措置について」

提言内容について、現状は従前と変わっていません。提言内容を実行してもらうためにはどうしたらよいのか？

<テーマ3> 輪転機・コピー機調査について

1. 研究交流の経過

- (1) 5月10日の第42回連携会議において、2013年度のとりくみとして「印刷機およびコピー機更新のサイクル表」を作成して欲しいとの要望意見が会議の中で提案される。
- (2) 6月14日の第43回連携会議において、提言1「コピー機・輪転機の更新について」の提言見直しについて事務局から提案する。(前年度は3月中旬に市教委から機

械更新の通知あり。希望集約や意見を言う機会もなく機械更新の連絡あり)

- (3) 7月12日の第44回連携会議において、調査・研修グループより輪転機・コピー機調査についての提案が行われる。(輪転機において保守点検の有無および月額契約金額に学校によって差があることが判明する)
- (4) 10月11日の第46回連携会議において、調査・研修グループより調査用紙の提案及び配布が行われる。(前回の調査では調査対象になっていなかった浜益・厚田地区も今回は調査対象にして調査を行うこととした)
- (5) 11月15日の第47回連携会議において、前回の調査用紙の集計結果を中間報告する。この調査に更新時期や平均カウンター数、リース単価を調査に加えて冬季研修で協議する事を確認する。

2. これまでの研究交流からの論点

- (1) 提言1の提言内容1「コピー機・輪転機の更新に際しては、学校との事前協議に基づき進められること」となっているが、今年度の対応で十分だろうか？
- (2) 提言1の提言内容2「リース料・リース期間、保守点検などの契約内容と更新に関する基本方針が各学校に示されること」となっているが、現状不十分でないか？
- (3) 輪転機およびコピー機の更新サイクルについて基本的にカウンター数に関係なく5年サイクルになっている。別紙を見ても5年目でのカウンター数に大きな隔たりがある。カウンター数の多い学校は、機械の耐用カウンター数に見合う年数に臨機応変に対応してもらえないか？
- (4) FAXのリースについて、コピー機と一本化(緑苑台小・樽川中を除く)を目指して提言内容3として項目を起こしてみてもどうか。
- (5) 輪転機とコピー機の窓口について旧市街地区は教育委員会、浜益・厚田地区は各出張所が担当している。今後もこのままで良いのか？旧市街と浜益・厚田地区で格差がつかないようにしていかなければならないのではないか？(同一の対応を望む)